

資産運用レポート：次の不況で何を買う？

1 はじめに

下図は米国債のイールドスプレッド（長短金利差）を表しているグラフです。足元において、長期金利（10年国債）が短期金利（3カ月国債）を下回る逆イールドが発生しています。

インフレを抑制するため、米国の中央銀行に当たるFRBが金融引締めを続けており、短期金利の上昇を招いていることが主な要因です。

過去の推移を見る限り、逆イールドが発生してからほぼ1年後に景気後退期（グラフでは灰色で示されている時期）に突入しています。

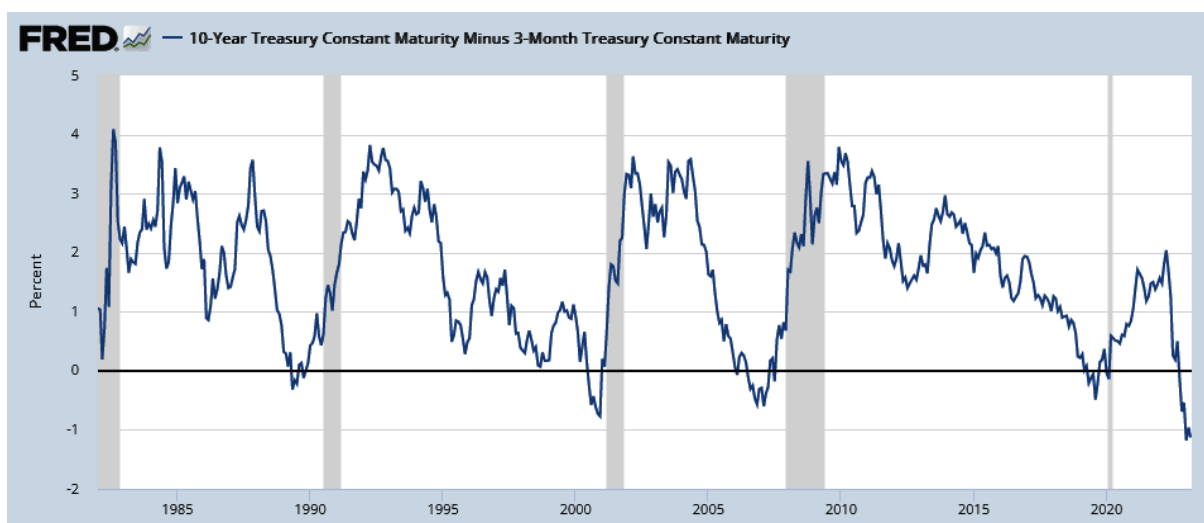
現に「100年に一度の危機」とうたわれた2008年のリーマンショックも、その前に発生した逆イールドが遠因となりました。

資本主義社会には、景気循環や信用サイクルといった波動が存在します。マーケットの歴史が繰り返すのであれば、今年の後半から来年にかけて不況に陥る可能性を否定できません。

投資家にとって、損失に見舞われる不況は辛い時期です。しかし裏を返せば、またとない投資チャンスでもあります。そうであれば、次の不況で何を買うべきか、目星を付けておくのが長期投資家の仕事ではないでしょうか。

今回の資産運用レポートでは、次の不況で買ってみたい銘柄を取り上げました。ひとつの投資アイデアとして、参考にいただければ幸いです。

★米国債 長短金利差の推移（10年国債－3カ月国債）



注：灰色で示されている時期は景気後退期